

令和5年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業  
 (I 帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業)  
 事業内容報告書の概要

地方公共団体名【 北栄町 】
令和5年度に実施した取組の内容及び成果と課題
<p>1. 事業の実施体制(運営協議会・連絡協議会の構成員等)</p> <pre>             graph TD                 A[鳥取県教育委員会] &lt;--&gt; 連携・協力  B[北栄町教育委員会]                 B &lt;--&gt; 連携・協力  C[対象児童生徒在籍校]                 B &lt;--&gt; 連携・協力  D[鳥取県国際交流財団]                 D --&gt; 通訳者の派遣  C                 C --&gt; 日本語学習支援  E[対象児童生徒・保護者]                 </pre>
<p>2. 具体の取組内容 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること</p> <p>(2) 在籍校内で日本語指導の担当者を定め、町から外国語通訳支援員と日本語指導支援員を配置するなど、対象児童生徒が安心して日本での学習に取り組み、学校生活を送れるような体制を整えた。</p> <p>(3) 対象児童生徒の日本語力を把握し、個々の実態に合わせた教育課程と個別の指導計画を作成して、日本語指導を行った。</p> <p>(4) 今年度の外国人児童生徒の受け入れ状況と本事業を活用した支援の状況について本町のHPで紹介した。</p> <p>(5) 他町の学校から外国人生徒の進路状況を聞き取り、対象児童生徒や保護者に中学校卒業後の進路についての情報提供を行った。</p> <p>(7) 日本語指導や在籍学級での学習に、タブレット端末やICTの機器を活用した。</p> <p>(10)外国語通訳支援員や日本語指導支援員を配置し、学習内容理解の支援や友達とトラブルがあったときの仲立ち、母語を用いながら保護者との情報交換をするなどの支援を行った。</p>
<p>3. 成果と課題 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること</p> <p>(2) 日本語指導を行う指導者を固定したことで、対象児童生徒の日本語力をさらに伸ばし、学習内容の理解を深めることができた。今後は対象児童生徒が誰とも日本語でコミュニケーションが取れるように、全校での指導体制を検討する必要がある。</p> <p>(3) 特別の教育課程を編成し、個別の指導計画や日本語指導計画を作成して学習を進めたことで、昨年度よりも日本語力を身につけることができた。しかし、日本語を使って自分の思いや考えを表出する力はまだ不十分である。また、日本語指導と併せて教科の学習内容をどこまで身につけさせていくのかを考え、より個々に応じた教育課程を組んでいくことが課題である。</p> <p>(4) 新たな外国人児童生徒を受け入れることも想定されることから、今後も町内の学校での受け入れ状況についてHP等で発信していく。</p> <p>(5) 対象児童生徒や保護者が、中学校卒業後の進路についてイメージできるようになってきた。さらに具体的に卒業後の生活について見通しを持ってもらえるように、引き続き情報提供と対象児童生徒や保護者の意向の確認を行う。</p> <p>(7) 日本語での学習にも意欲的に参加できるようになっているが、日本語の読み・書きへの負担が大きいため、今後も様々な学習場面でタブレット端末を活用していくことを在籍校に働きかける必要がある。</p> <p>(10)外国語通訳支援員や日本語指導支援員からの支援により、対象児童生徒が昨年度よりも安心して学校生活を</p>

送ることができている。今後は、対象児童生徒の様子を見ながら支援員の支援を徐々に減らし、自分の力で学校生活が送れるように働きかけていく。

	幼稚園等	小学校	中学校	義務教育 学校	高等学校	中等教育 学校	特別支援 学校
本事業で対応した幼児・児童 生徒数	人 (園)	4人 (2校)	2人 (1校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)
うち、特別の教育課程で指導 を受けた児童生徒数		4人 (2校)	2人 (1校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)	人 (校)

#### 4. その他(今後の取組予定等)

- ・今年度取り組んだことを継続しながら、支援員の支援の量を徐々に減らしていき、支援員がいなくても通常学級で学習や生活ができる時間を増やしていく。
- ・困ったときに、誰にでも援助が求められるような力をつける指導を行っていく。

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない) 成果物等があれば別途提出すること。

※ 事業内容報告書の概要は、担当者・連絡先欄を除き、様式9(添付1)の5. 成果イメージ資料のポンチ絵と併せて、文部科学省ホームページで公開する。